



平成 24 年 1 月 27 日

各 位

会社名 株式会社ユビテック
代表者名 代表取締役社長 荻野 司
(JASDAQ・コード 6662)
問合せ先
役職・氏名 常務取締役管理本部長 明石 直人
電話 03-5487-5560

平成 24 年 6 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 23 年 8 月 10 日の決算短信発表時に公表した平成 24 年 6 月期第 2 四半期累計期間業績予想(平成 23 年 7 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 24 年 6 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想(平成 23 年 7 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	1,920	190	185	95	円 銭 666 29
今回修正(B)	1,790	125	115	55	円 銭 385 43
増減額(B-A)	△130	△65	△70	△40	—
増減率(%)	△6.8	△34.2	△37.8	△42.1	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 23 年 6 月期第 2 四半期)	1,905	188	181	92	円 銭 656 70

(2) 平成 24 年 6 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想(平成 23 年 7 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	1,620	175	90	円 銭 631 22
今回修正(B)	1,465	75	35	円 銭 245 27
増減額(B-A)	△155	△100	△55	—
増減率(%)	△9.6	△57.1	△61.1	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 23 年 6 月期第 2 四半期)	1,580	167	86	円 銭 616 29

2 修正の理由

今第2四半期における業況について、電子機器事業においては、紙幣鑑別ユニット等のATM向けセンシングモジュールは好調に推移しておりますが、一部のセンシングモジュールは生産終了となり、カーソリューション事業も東日本大震災による市場停滞や部材手配遅延の影響から前期比横ばいの推移となっております。

モバイル・ユビキタス事業においては、子会社のユビテックソリューションズは好調に推移したものの、携帯電話の評価業務については受注が減少し、パナソニック電工(現パナソニック)との開発案件も前期で終了いたしました。また、UGSについては当初予算どおりの売上を計上するには至りませんでした。

従前より、事業方針の転換として、受託開発中心の事業から自社製品・サービスを提供するモデルに変更し、特に今期はUGSの拡販に注力しております。UGSは東京大学・キャノンSタワーへの導入に始まり、今期も大塚商会本社やマイクロソフト本社等への導入、および「グリーンITアワード 2011 経済産業省商務情報政策局長賞」や「Interop Tokyo 2011 Best of Show Award」も受賞したことにより、多くの企業から継続的な引合いをいただいている状況ですが、現地調査や顧客の投資に対する意思決定には長時間を要する傾向にあり、獲得を見込んでいた案件についても受注活動を継続中のものが多いため、売上・利益共に第2四半期の当初業績予想を下回る事となりました。

今後については、電力会社による電気代値上げの動きにも合わせ、オリックス・キャノンマーケティングジャパン・大塚商会等の大手販売代理店との連携をさらに強化し、UGSのラインナップを増強した上で顧客の意思決定を早められるような活動を行いつつ、コスト削減のために国内事業拠点の見直し等を実施する予定です。

また、海外戦略を強化しアジア中国市場の成長を取り込むために、事業拠点の海外展開について具体的な検討を開始いたします。安定的かつ長期的な利益を確保できる事業を構築すべく、引き続きUGSの拡販に注力するとともに、新たな自社製品・サービスの開発にも注力していきます。

なお、現時点において通期業績予想の変更はございませんが、今後の市況や業績動向をふまえ、修正の必要がある場合には速やかに開示致します。

[注]以上の業績予想は、現時点で入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動及び経済情勢等の変化により、実際の業績と本開示内容における見通しとは異なる可能性があります。

以 上